

後年度・中期目標事業沖縄振興特別推進市町村交付金事業 成果一覧

令和7年10月

那覇市	1	嘉手納町	-
宜野湾市	2	北谷町	16
石垣市	2	北中城村	16
浦添市	4	中城村	16
名護市	5	西原町	-
糸満市	7	与那原町	17
沖縄市	7	南風原町	17
豊見城市	8	渡嘉敷村	18
うるま市	8	座間味村	18
宮古島市	11	粟国村	-
南城市	12	渡名喜村	-
国頭村	13	南大東村	18
大宜味村	-	北大東村	19
東村	14	伊平屋村	19
今帰仁村	14	伊是名村	20
本部町	14	久米島町	20
恩納村	14	八重瀬町	20
宜野座村	-	多良間村	20
金武町	-	竹富町	21
伊江村	14	与那国町	22
読谷村	15		

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
01那覇市	R4		7 2	文化芸術拠点施設整備事業 (壺屋焼物博物館展示室環境 整備)	後年度・ 未検証	R6	壺屋焼物博物館の常設展示の多言語化及びユニバーサルデザイン環境 を高め、ポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発 信を強化するために、音声・映像等を活用した解説環境を整備する。	R5年度にR4年度事業成果を検証するためのア ンケートを実施予定としていたが、R5年度末に整 備が完了したため、令和6年度にアンケートを実 施することとした。	音声ガイダンスの満足度:91.9%	◎
01那覇市	R5		1 25	那覇市営奥武山体育施設照明 設備及びスコアボードLED化 整備事業	後年度	R6	照明設備のLED化により、省エネ化を図るとともに、スコアボードフ ルLED化により、イベント開催のための機能強化を行い利用者増を図 る。	【令和6年度成果目標】 整備工事後後1年目(令和6年度)の目標を以 下のとおりとする。 ・二酸化炭素排出量削減効果 15t以上 ・利用者数 320,000人以上	・二酸化炭素排出量削減効果 14.8t ・利用者数 352,787人	○
01那覇市	R5		2 4	泊漁港将来像構想策定事業	後年度	R6	本市の水産業の中心地である泊漁港において、施設利用等の実態調査及 び水産関係団体等のヒアリングをもとに、泊漁港の将来像構想を策定 し、本市水産業を発展させることを目的とする。	策定する将来像構想の中で、生産者においては 泊漁港内での水産物水揚げ量、流通事業者等に おいては泊漁港内での水産物売上額の目標値を 設定し、これらを達成するための支援策を実施 する。	－	－
01那覇市	R5		3 1	中小企業事業者の県外・海外 向け販路拡大支援事業	後年度	R6	市内中小企業事業者が開発もしくは代理店等として取り扱いをしてい る商品やサービスの販路拡大を目的として、商談会等へ出展する際の経 費の一部を補助する。また、海外販路開拓に向けてセミナーを開催し、 フォローアップを行う等実践的な支援を行う。	・商談成約率 10%以上	・商談成約率 12.4%	◎
01那覇市	R5		3 14	那覇MICE受入推進事業	後年度	R6	本市におけるMICE受入体制構築、誘致促進に繋がる取り組みを行う。	本格的な誘致活動等を行う1年目(令和6年度予 定)の成果目標を以下のとおりとする。 ・那覇市内MICE開催件数(277件)	－	－
01那覇市	R5		7 2	文化芸術拠点施設整備事業 (壺屋焼物博物館展示室環境 整備)	後年度	R6	ポストコロナにおける外国人観光客を含む多様な観覧者への発信を強 化するために、音声・映像等を活用した解説環境を整備する。R5年度 は音声ガイダンスを製作する。	本格的な供用開始1年目(R6年度)の成果目標を 以下のとおりとする。 音声ガイダンスの満足度(80%以上)等、利用 者へのアンケートにより、本事業の成果について 検証する。	音声ガイダンスの満足度:91.9%	◎
01那覇市	R5		11 3	災害備蓄品整備事業	後年度	R6	大規模災害時における観光客の安全確保を図るため、災害備蓄品を整 備し、防災体制の強化を推進する。	・R6(食糧品:97%、資機材:96%) ・R7(食糧品:100%、資機材:100%)	・R6(食糧品:97%、資機材:96%)	◎
01那覇市	R4		1 21	歴史散歩道整備事業	後年度	R6	観光客が那覇の歴史を感じて歩くことができるようにするため、歴史散 歩道を整備する。	本事業により、整備を行った歴史散歩道(山下町 地内)について、観光客へのアンケート調査を実 施し、歴史を感じて歩くことができたか(80%以 上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり 方を検証する。 ※山下町地内において歴史文化財に隣接する散 歩道の路線の一部について琉球石灰岩石張舗 装を整備することができたが、継続して令和5年 度も整備を進めているところであり、令和4年度 の効果発現は後年度となり、工事が完了し案内説 明板の設置される令和6年度に後年度評価を行 う。	－	－

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
01那覇市	R5		1 12	第一牧志公設市場再整備推進事業	後年度	R6	那覇市の観光振興に寄与する拠点施設である第一牧志公設市場を再整備することで、第一牧志公設市場を含めた中心市街地の賑わいの維持及び観光客の誘客を図る。今年度は、再整備に伴い撤去されたアーケードの再整備補助を実施する。	年間来訪者数目標256万人	年間来訪者数目標184万人	○
01那覇市	R5		1 20	花いっぱい運動推進事業	後年度	R6	観光都市として魅力的な景観を創出するため、観光ルート沿線を対象に草花苗の配布や公園花壇への花卉植栽を行うとともに、亜熱帯特有の樹木を活かした都市公園の環境整備や情報発信の向上を図る。	立体花壇等の設置後、継続してアンケート調査等を実施し、「観光地としてふさわしい景観や公園と感じる」割合が80%以上となるよう成果目標を設定し、本事業のあり方を検証する。	「観光地としてふさわしい景観や公園と感じる」割合:100%	◎
01那覇市	R5		11 5	災害に強い塵芥収集運搬業務体制強化事業	後年度	R6	塵芥収集業務の確実な通信手段を確保することで、市民生活はもとより、観光業も含めた防災体制の強化を図り、安心・安全な観光まちづくりに寄与するため、天候や地形等に影響を受けやすいアナログ無線機をこれらに強いIP無線機に切り替える。	災害時に不通となる件数:0件	災害時に不通となる件数:0件	◎
01那覇市	R5		6 19	こどもの学習意欲を高めるためのICT環境整備事業	未検証	R6	市内小学校の普通教室に液晶型電子黒板などのICT機器を整備し、児童の情報端末との連携を強化することで、主体的かつ協働的な教育活動を展開し、学習意欲の向上を図り、学力向上につなげていく。	・ICT機器を活用した授業が学習意欲を高めるのに効果があつたとする児童の回答割合:85%(小学校平均)以上 ・ICT機器を活用した授業が児童の学習の理解(知識・技能)を高めるのに効果があつたとする教員の回答割合:85%(小学校平均)以上	・ICT機器を活用した授業が学習意欲を高めるのに効果があつたとする児童の回答割合:98%(小学校平均)以上 ・ICT機器を活用した授業が児童の学習の理解(知識・技能)を高めるのに効果があつたとする教員の回答割合:89%	◎
02宜野湾市	H30		1 11	嘉数高台公園施設整備事業	後年度	R6	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性を図るため、公園施設を含めた再編整備工事を行い、市民や観光客のさらなる誘客を図る。	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたと回答した割合:93%	◎
02宜野湾市	R5		1 ⑤	嘉数高台公園施設等施設整備事業	後年度	R6	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性を図るため、公園施設を含めた再編整備工事を行い、市民や観光客のさらなる誘客を図る。	戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたと回答した割合:93%	◎
03石垣市	R2		2 6	石垣市中央運動公園リニューアル事業沖	後年度	R6	スポーツを通した観光誘客を含め、中央運動公園の利活用促進を図るため、中央運動公園の再整備を行う。	【R6成果目標】 リニューアル整備後の施設を活用したスポーツ大会等の参加者数13,000人以上/年間	－	－
03石垣市	R4		3 ②	ひとり親家庭生活支援事業	後年度	R5	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等の生活全般にわたる支援を原則1年間行う。	支援開始1年後の自立した世帯の割合:75%以上	・67%	○
03石垣市	H24		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍館を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量:5,295尾以上	・4,720尾	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
03石垣市	H25		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	H26		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	H27		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	H28		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	H29		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	H30		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	R1		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
03石垣市	R2		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	R3		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	R4		4 ②	水産振興事業	後年度	R6	養殖魚類の生産量の増加を促進するため、養殖魚類種苗を沖縄本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。また、鯖漁等の水揚げ量の維持を図るため、漁船用冷凍餌を沖縄本島から石垣島まで輸送する費用の補助を行なう。	【R6成果目標】 養殖魚類水揚げ量: 5,295尾以上	・4,720尾	○
03石垣市	R5		2 ②	クルーズターミナル整備事業	後年度	R6	クルーズ船の寄港増加を図るため、出入国に関する手続きに必要なクルーズターミナルの整備を行う。	クルーズ船の年間寄港回数 343回以上/年	－	－
03石垣市	R5		5 ⑫	専門人材育成事業	後年度	R6	本市の教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。	・小学校での教員採用試験合格者数: 6人以上 ・中学校での教員採用試験合格者数: 6人以上	・4人 ・2人	未
03石垣市	R5		5 ⑬	石垣市省エネ推進事業	後年度	R6	市内施設の省電力化を推進し、環境負荷の軽減および低炭素島しょ社会の構築を図る。	・LED照明導入後の館内使用電力量年間削減率 13% ・クーラーフル稼働月の使用電力量 削減率 44%	・29% ・1%	△
04浦添市	H29		2 1	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業	後年度	R6	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、地域景観資源の保全・再生、市民活動の支援、人材育成を行い、文化・観光を含む地域振興を図る。	地域ごとの景観施策、景観まちづくり計画等の基準及びまちなみ景観を修景するための支援(助成)を基に、景観形成の規制・誘導を行うことで、沖縄らしい美しいまちなみ景観形成の推進につなげる。	①景観計画委託業務の完了 ②補助工事: 1件/7件 ③地域の歴史や文化に対する興味が湧いたか アンケート結果: 97%/80%以上 ・歴史ガイド参加者(516人/1年)	○
04浦添市	H30		2 4	カーミージー地区海浜公園整備事業	後年度	R6	良好なサンゴ礁群と砂浜が残るカーミージー地区周辺に、市民の自然環境保全への理解を深めるための体験学習・環境教育や、観光誘客のためのエコツーリズムの拠点となる施設及び公園を整備するため、過年度において策定した計画を基に、施設配置や施設の形状、植栽等について概略の設計を行う。	カーミージー地区で開催する体験学習・環境教育への参加者に対してアンケートを行い、自然環境の保全への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。 市外からのエコツーリズムプログラム参加者及びレンタルカヌー利用者750人以上/年	－	－
04浦添市	R3		5 ①	災害時備蓄食料及び保管倉庫等整備事業	未検証	R6	災害時の住民及び観光客の安全確保を図るため、市内避難所に防災倉庫、食糧、飲料水、浄水器、発電機、投光器、簡易トイレ、トイレ用 TENT を配備。	整備した備蓄食糧及び備品等を活用した防災訓練(1回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。	－	－

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果 発現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価	
04浦添市	R5			青少年巡回指導員事業	後年度	R6	青少年の問題行動が発生しやすい公園及びたまり場等での巡回指導や第2金曜日の夜間街頭指導を行い、非行の未然防止と早期発見、早期対応を図る。また、市内を巡回しながら登下校時の見守りや不審者情報への対応、学校からの依頼により不登校傾向の児童生徒の家庭訪問等の支援を行う。	【R6年度】 ・(小学生)不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減21.5%以下 ・(中学生)不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減23.7%以下	・不登校児童生徒の要因の中の「生活リズムの乱れ・あそび・非行」の低減 小学校目標:27.9% 中学校目標:28.1%	未	
04浦添市	R5			島桑産業拡大支援事業	後年度	R6	①沖縄県の在来品種であるシマグワを活用する事業者に対して産業拡大に係る試作品開発等の支援を行うことで、シマグワに関する産業の振興を図る。 ②シマグワが持つ機能性等を大学機関等と共同研究し科学的エビデンスの構築や新たな技術開発を行うことで地域産業の付加価値を向上させる。	シマグワ原料生産量5%増	シマグワ原料生産量:2%減	未	
04浦添市	R5			浦添市都市計画マスタープラン改定業務事業	後年度	R6	牧港補給基地は、2024年度以降に返還予定となっており、それに合わせた牧港補給地区跡地利用基本計画の策定を行っていることから、同跡地計画と整合した浦添市都市計画マスタープランを改定することにより、基地跡地の基盤整備等に係る取組の早期着手を図る。 本事業では、全体構想の検討、地域別整備構想の検討、実現化方策の検討を踏まえ計画案を取りまとめ、パブリックコメントや住民説明会などの各種会議を経て、浦添市都市計画マスタープランを改定する。	浦添市都市計画マスタープラン改定	-	-	
05名護市	H30	繰	2	7	やがじ地域観光拠点整備事業	後年度	R6	屋我地地域における観光産業の確立を図るために、地域資源となっているオランダ墓へのアクセス通路の改修、国内でも数少ない製塩法の塩づくり及び農業の体験ができる施設の整備を実施する。	【令和6年度成果目標】 利用率(農業体験施設):10.0% 修学旅行受入校数:120校	-	-
05名護市	R1		10	1	わんさか大浦パーク機能強化整備事業	後年度	R6	「二見以北交流拠点施設(わんさか大浦パーク)」は2011年に供用を開始し、名護市二見以北の観光拠点施設として、親しまれてきた。また今後は沖縄県北部やんばるの世界自然遺産登録に伴い、利用者のニーズに対する既存施設の機能に不十分な部分が発生している。わんさか大浦パーク施設の機能強化を図ることにより、北部地域を訪れる観光客の受入体制を強化し、満足度、観光地としての魅力向上につなげることで、沖縄県のリーディング産業となっている観光産業の振興に資する。	わんさか大浦パーク年間利用者数:129,583人	わんさか大浦パーク年間利用者数:104,008人	○
05名護市	R2		10	1	わんさか大浦パーク機能強化整備事業	後年度	R6	「二見以北交流拠点施設(わんさか大浦パーク)」は2011年に供用を開始し、名護市二見以北の観光拠点施設として、親しまれてきた。また今後は沖縄県北部やんばるの世界自然遺産登録に伴い、利用者のニーズに対する既存施設の機能に不十分な部分が発生している。わんさか大浦パーク施設の機能強化を図ることにより、北部地域を訪れる観光客の受入体制を強化し、満足度、観光地としての魅力向上につなげることで、沖縄県のリーディング産業となっている観光産業の振興に資する。	わんさか大浦パーク年間利用者数:129,583人	わんさか大浦パーク年間利用者数:104,008人	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
05名護市	R2		2	5	観光情報インフラ(Wi-Fi)整備事業	未検証	R6 外国人を含む観光客等の利便性を確保するため、名護市の中心市街地を中心とした名護大通り及び周辺通りにWi-Fi拠点を整備する。	【R6成果目標】 外国人観光客等へのアンケートにおいて、「Wi-Fiが整備されたことにより、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。 (これまではコロナの影響により観光客の激減で事業検証ができなかったが、アフターコロナの動向を見据えて検証を行う。)	外国人観光客等へのアンケートにおいて、「Wi-Fiが整備されたことにより、利便性が確保されたか」:90.6%	◎
05名護市	R3	繰	2	11	二見以北交流拠点施設機能強化事業	後年度	R6 「二見以北交流拠点施設(わんさか大浦パーク)」は2011年に供用を開始し、名護市二見以北の観光拠点施設として、親しまれてきた。また今後は沖縄県北部やんばるの世界自然遺産登録に伴い、利用者のニーズに対する既存施設の機能に不十分な部分が発生している。わんさか大浦パーク施設の機能強化を図ることにより、北部地域を訪れる観光客の受入体制を強化し、満足度、観光地としての魅力向上につなげることで、沖縄県のリーディング産業となっている観光産業の振興に資する。	わんさか大浦パーク年間利用者数:129,583人	わんさか大浦パーク年間利用者数:104,008人	○
05名護市	R1			6	スポーツ力向上促進事業	後年度	R6 市民が夢・希望・勇気・感動を享受できる環境づくりを目指し、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室及び講演会、指導者講習会並びにスポーツ交流等の様々な体験事業を通して、青少年の健全育成や競技力の向上、健康増進など、スポーツを通じた地域振興を図る。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,221名	○
05名護市	R2			6	スポーツ力向上促進事業	後年度	R6 児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,221名	○
05名護市	R3			6	スポーツ力向上促進事業	後年度	R6 児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,221名	○
05名護市	R4			6	スポーツ力向上促進事業	後年度	R6 児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,221名	○
05名護市	R5			6	スポーツ力向上促進事業	後年度	R6 児童生徒のスポーツへの興味・関心を高めるため、トップアスリート等を招聘した市民参加型のスポーツ教室や講演会を開催する。また、指導者の指導力を向上させるため、指導者講習会を開催する。	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,404名	市内中学校の運動部への在籍生徒数:1,221名	○
05名護市	R3	繰		11	防災対策機能強化事業	後年度	R6 島嶼県である沖縄においては、大規模災害に対処した他県からの応援が迅速に受けられないことを踏まえ、本島最長のトンネル区間を有する名護東道路の開通に対応した市内の消防防災機能の強化を図る。	【R6年度成果目標】大型水槽車を活用した消防訓練を年間12回以上実施	大型水槽車を活用した消防訓練を実施:40回	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
05名護市	R5		10	名護市総合交通ターミナル実 現化検討調査事業	後年度	R6	名護湾沿岸（名護漁港周辺エリア）実施計画で示された交通結節点の整備に向けて、総合交通ターミナル整備の実現化に向けた調査を行う。	策定する当該調査報告書の中で、名護市総合交通ターミナル利用者数の目標値を設定し、当該目標値の実現に向けた施策展開を図る。	－	－
06糸満市	H24		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg)	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg	未
06糸満市	H25		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg)	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg	未
06糸満市	H26		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg)	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg	未
06糸満市	H27		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg)	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg	未
06糸満市	H28		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg)	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg	未
06糸満市	H29		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg)	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg	未
06糸満市	H30		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg)	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg	未
06糸満市	R5		8 ①	省エネ設備化推進事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、照明のLED化工事を実施する。	中央図書館におけるCO2排出量の削減(目標値:48,303kg) CO2排出量の削減 南浜公園LED化【160,000kg】 運動公園屋内プール【14,000kg】 合計【174,000kg】	中央図書館におけるCO2排出量の削減【48,303kg】:28,112kg 南浜公園LED化によるCO2削減量【160,000kg】:62,300kg 運動公園屋内プールにおけるCO2排出量の削減【14,000kg】:13,130kg	未
06糸満市	R5		7 ①	公共施設予防改修事業(塩害 防止)	後年度	R6	台風等による公共施設の塩害を防止し、市の子どもたちの学びの場として利用される公共施設(中央図書館)の安全な学習環境を整備し、建物の長寿命化を図るため外壁塗装を行う。	施設管理者による点検を実施する。 ・外壁の剥離件数:0件 ・外壁の亀裂等件数:0件	事業遅れのため未検証	－
07沖縄市	R5		1 ④	音楽産業拠点施設機能強化事業	後年度	R6	音楽産業の振興を図るため、音楽ライブや伝統芸能に加え、県内外有名アーティストのコンサート等幅広いジャンルで活用される音楽産業拠点施設の設備機能を強化する。	・年間利用者数:50,370人	・年間利用者数:34,301人	未

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
07沖縄市	R5		7 ①	キャンブ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業	後年度	R6	キャンブ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用整備計画(案)の作成をする。	跡地利用整備計画(案)策定後、当該跡地利用計画に対する地権者や市民等の「肯定的な評価」を得られているかアンケート調査により、本事業のあり方を検証する。	アンケートより、肯定的な評価80%以上を目標に、跡地利用の形成方針について、「この内容でいい」との回答:52.2% 「分からない」との回答:36.4%	未
07沖縄市	H24～R6		11 ①	沖縄こどもの国施設整備事業	中期的	R6	沖縄県で唯一の本格的な動物園や科学館等を有し、広域的な児童・青少年のための人材育成拠点施設である沖縄こどもの国の機能強化のため、施設整備基本計画に基づき施設の整備をおこない、観光誘客及び人材育成拠点の充実を図る。	年間来園者数:75万人	年間来園者数:73万人	○
08豊見城市	R5		1 ⑥	第2次豊見城市観光振興計画策定事業	後年度	R6	第1次観光振興計画における各施策の取組成果を検証し、その結果と社会情勢や環境の変化を踏まえた観光政策の指針となる第2次観光振興計画を策定する。	策定した第2次豊見城市観光振興計画に基づき、各観光振興施策に取り組み令和6年度入域観光客数740万人以上。	—	—
08豊見城市	R5		6 ②	低炭素社会構築事業	後年度	R6	公共施設を省エネ化することで、自然環境に配慮したまちづくりを推進するため、市立中央公民館の空調設備の機能強化を行う。	・中央公民館中ホールにおける電気使用量を基準年度(R1)より11%以上削減。	電力使用量:211,558kWh	◎
09うるま市	R4		8	海中道路周辺海域自然環境再生事業	後年度	R6	海中道路の建設に伴う潮流の変化により、漂着ゴミの滞留や堆積した海藻の腐敗、生活雑排水の流入等により悪化した海中道路周辺の海域について、地域住民、学識経験者(大学教授等)、行政の職員などで構成する「海中道路周辺海域自然環境再生協議会(以下「協議会」という。)を開催し、協議会内での意見や提案等を通して、悪化している自然環境の再生、改善施策の実施及び当該海域の観光資源としての質を向上させ、地域活性化を図る。	【環境改善】 一般的浄化設備性能に基づき設定 ● 該当水路水質【R6】 令和4年度 BOD:80mg/l 令和6年度 BOD:20mg/l ● 海域(該当水路接続点)底質【R10】 実施計画に基づき設定 令和4年度 硫化物:0.061mg/g 令和10年度 硫化物:0.019mg/g ● 臭気指数【R10】 実施計画に基づき設定 令和4年度 17 令和10年度 15未満	該当水路水質 令和6年度 BOD:27.1mg/l	◎
09うるま市	H24		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	文化観光拠点整備に向けた基本計画の策定	文化観光拠点整備に向けた基本計画の策定	◎
09うるま市	H25		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	文化観光拠点整備に向けた基本設計基礎調査	基本設計基礎調査の完了 年間来場者数175千人	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
09うるま市	H26		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	文化観光拠点整備に向けた基本設計	文化観光拠点整備に向けた基本設計策定 年間来場者数156千人	◎
09うるま市	H27		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	整備予定地の不動産鑑定の完了 物件補償費等の算出 勝連城跡文化観光拠点複合施設整備の基本理念、運営方針の策定 勝連城跡文化観光拠点周辺における動植物及び池の活用の方針の策定 【R4成果目標】 年間来場者数200千人	整備予定地の不動産鑑定の完了 物件補償費等の算出 勝連城跡文化観光拠点複合施設整備の基本理念、運営方針の策定 勝連城跡文化観光拠点周辺における動植物及び池の活用の方針の策定 年間来場者数148千人	○
09うるま市	H28		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	勝連城跡周辺文化観光施設基本計画の策定 物件補償調査業務の完了 変電所移転調査等業務の完了 入口ゲート実施設計業務の完了 用地の取得 711.4㎡ 物件の除却 1件 【R4成果目標】 年間来場者数300千人	勝連城跡周辺文化観光施設基本計画の策定 物件補償調査業務の完了 変電所移転調査等業務の完了 入口ゲート実施設計業務の完了 用地の取得 711.4㎡ 物件の除却 1件 年間来場者数171千人	△
09うるま市	H29		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	文化観光拠点(駐車場・入口広場)実施設計の完了 文化観光施設(建築・展示)基本設計の完了 用地取得の完了 物件移転補償(一般補償、公共補償) 【R4成果目標】 年間来場者数300千人	文化観光拠点(駐車場・入口広場)実施設計の完了 文化観光施設(建築・展示)基本設計の完了 用地取得の完了 物件移転補償(一般補償、公共補償) 年間来場者数172千人	△
09うるま市	H30		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	入口ゲート整備工事完了 ・入口ゲート建築工事完了 ・造成工事 ・護岸整備工事完了 ・排水路整備工事完了 ・駐車場一部工事完了 ・トイレ実施設計完了 ・観光ターミナル実施設計完了 ・歴史文化施設建築実施設計完了 ・歴史文化施設展示実施設計完了 ・入口広場分筆測量完了 ・用地取得完了 ・物件移転(一般補償)完了 ・物件移転(公共補償)完了 【R4成果目標】 年間来場者数300千人	入口ゲート整備工事完了 ・入口ゲート建築工事完了 ・造成工事 ・護岸整備工事完了 ・排水路整備工事完了 ・駐車場一部工事完了 ・トイレ実施設計完了 ・観光ターミナル実施設計完了 ・歴史文化施設建築実施設計完了 ・歴史文化施設展示実施設計完了 ・入口広場分筆測量完了 ・用地取得完了 ・物件移転(一般補償)完了 ・物件移転(公共補償)完了 年間来場者数183千人	△

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
09うるま市	R1		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	歴史文化施設建築工事 ・観光ターミナル建築工事 ・歴史文化施設展示制作業務 ・用地取得 ・物件移転(公共補償) 【R4成果目標】 年間来場者数300千人	歴史文化施設建築工事完了 観光ターミナル建築工事完了 歴史文化施設展示制作業務完了 用地取得完了 物件移転(公共補償) 年間来場者数162千人	△
09うるま市	R2		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	歴史文化施設展示制作業務の実施 物件移転補償(公共補償)の実施 用地取得の実施 AR・VR等映像コンテンツ制作の実施(R2dのみ) 【R4成果目標】 年間来場者数300千人	歴史文化施設展示制作業務の実施 物件移転補償(公共補償)の実施 用地取得の実施 AR・VR等映像コンテンツ制作の実施(R2dのみ) 年間来場者数68千人	△
09うるま市	R3		4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	後年度	R6	世界遺産として登録されている勝連城跡は、周辺施設の整備が不十分であることから地域への経済波及効果は薄い状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした地域振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	入口広場整備工事の完了 入口広場植栽工事の完了 用地取得の完了 物件補償の完了 【R4成果目標】 年間来場者数250千人	入口広場整備工事の完了 入口広場植栽工事の完了 用地取得の完了 物件補償の完了 年間来場者数62千人	△
09うるま市	R4		3	うるま市島しょ地域振興事業	後年度	R6	地域への宿泊を伴う滞在者を市外(県外含む)から募集し、滞在者とのスケジュール調整や地域案内、アンケートの実施、結果のとりまとめ等を実施する。	地域への滞在者(世帯数)15世帯 プロジェクト創出件数 5件	地域への滞在者(世帯数)15世帯 プロジェクト創出件数 5件	◎
09うるま市	R5		3	うるま市島しょ地域振興事業	後年度	R6	地域への宿泊を伴う滞在者を市外(県外含む)から募集し、滞在者とのスケジュール調整や地域案内、アンケートの実施、結果のとりまとめ等を実施する。	地域への滞在者(世帯)数 15世帯 プロジェクト創出数 5件	農作業等お仕事体験の参加世帯数15世帯 プロジェクト創出型の参加世帯数5世帯	◎
09うるま市	R6		3	うるま市島しょ地域振興事業	後年度	R6	地域への宿泊を伴う滞在者を市外(県外含む)から募集し、滞在者とのスケジュール調整や地域案内、アンケートの実施、結果のとりまとめ等を実施する。	農作業等お仕事体験の参加世帯数10世帯 プロジェクト創出型の参加世帯数 5件	農作業等お仕事体験の参加世帯数12世帯 プロジェクト創出型の参加世帯数5世帯	◎
09うるま市	R5		1	④ モータースポーツ振興推進事業	後年度	R6	R4年度に実施した可能性調査の結果を基に、本市において実現可能性のあるモータースポーツ競技の実証イベントや民間企業と連携したモータースポーツイベントを実施することにより、市民ニーズの把握や意識の醸成を図るとともに、観光誘客及び観光消費につなげる。また、令和7年度以降の民間主体による自走化に向けた課題の整理及び、必要な取り組みの実施及び検証を行う。	・R5に実施する実証イベントの結果を踏まえ、今後の具体的な実施計画を策定する。 また、引き続き、実証イベントを開催し、モータースポーツ振興への市民及びモータースポーツ関係者の意識醸成を図る。 ・実施計画の策定 ・実証イベントの来場者数 R5 5,000人 ・実証イベントの来場者数 R6 2,000人	【令和5年度】 実施計画の策定完了 実証イベントの来場者数1,637人 【令和6年度】 実証イベントの来場者数1,144人	△

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
09うるま市	R5		1 ⑦	勝連城跡を中心としたうるまの総合的魅力プロモーション事業	後年度	R6	首都圏における現代版組踊「肝高の阿麻和利」公演および勝連城跡を中心としたうるまの文化・観光・物産等の総合的魅力プロモーションを実施し、西海岸リゾートと異なる沖縄の文化・伝統・歴史・自然・食・体験を凝縮したうるまブランド「沖縄のすべてのコンテンツ、アクティビティが体感できるまち うるま」としての新たな価値認識・ブランディングを図ることで、世界遺産勝連城跡を基軸とした市内周遊滞在型の観光誘客を図ることを目的とする。	・シティプロモーションの実施による市内来訪動機付けによる観光誘客を図り、令和6年度に市内主要観光施設(あやはし館と勝連城跡)の目標入場者数を430千人とする。	令和6年度に市内主要観光施設(あやはし館と勝連城跡)の目標入場者数430千人 市内主要観光施設の目標入場者数(勝連城跡、海の駅あやはし館)210千人 市内主要観光施設の目標入場者数(勝連城跡、海の駅あやはし館、東照間商業施設)330千人	未
09うるま市	R5		2 ④	うるま市農水産業振興戦略拠点施設機能強化整備事業	後年度	R6	秋季や冬季において寒風の影響を受け、屋外で飲食を提供しているフードコートの売上やイベント集客などに影響を及ぼしているため、防風設備を設置し、季節や天候に左右されない、一年を通じた集客環境を整備する。	売上前年比25%以上の増加	売上前年比5%以上の増加	未
09うるま市	R5		3 ④	うるま市石川地域まちづくり推進事業	後年度	R6	石川IC周辺において、観光客等の通過地点から立寄り地へと転換させるべく、交流拠点や交通結節機能の形成に向けた基本計画を策定する。 石川庁舎周辺においては、地域住民や県内外の方々の目的地となるエリア開発を通して滞在や人流を生み出し、既成市街地への波及効果により石川地域全体の賑わい創出を図ることを目的に、事業化に向けたアドバイザー業務委託を実施する。また、県営石川団地再整備による用地を活用した周辺整備を検討する。	・石川ゲートウェイ拠点推進計画の事業者公募の実施(アドバイザー業務)	石川庁舎周辺利活用事業化アドバイザー業務委託の完了	◎
09うるま市	R5		3 ⑤	勝連・与那城地域まちづくり推進事業	後年度	R6	本市勝連・与那城地域については、市の上位計画において、勝連城跡を観光拠点としたエリアづくりや観光産業の振興を図ることとしており、また、沖縄県が掲げる新たな観光方針(質の高い観光の推進等)を推進していく為にも本地域が有する歴史文化や伝統芸能等のソフトパワーをまちづくりの基軸として位置付け、当該ソフトパワーを切り口とした新たな観光産業の創出及び観光振興等に資する施策を展開するための計画を策定する。	海中道路入口周辺活用拠点基本計画	利活用推進実施計画の策定完了	◎
09うるま市	R5		4 ②	地域雇用人材育成事業	後年度	R6	新規雇用者を対象に、雇用後に行われる人材育成を民間企業との連携により実施し、地域人材の雇用促進及び定着率の改善を図る。 また、生活環境の変化や働き方の多様化によりニーズが高まっているテレワークについての人材を育成し、即効性のある市民の新たな収入源確保に繋げ、地域経済の立て直しを図る。	人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率90%以上 人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民 135名	人材育成を行った新規雇用者の継続雇用率 84% 人材育成事業実施後、テレワーカーとして働く市民 131名	○
09うるま市	R5		10 ②	省エネ設備推進事業	後年度	R6	省エネ機器への切り替えを行い、温室効果ガスの削減を図る。	・温室効果ガス(消費電力)を65%抑制。(東照間商業等施設)	温室効果ガス(消費電力)を99%抑制。	◎
10宮古島市	R1		1 3	トロピカルフルーツパーク機能強化事業	後年度	R6	トロピカルフルーツパークの観光誘客を図るため、官民協働による機能強化整備を行う。	供用開始後1年目(令和5年度)の目標を以下のとおりとする。 年間利用客数49,474人	-	-
10宮古島市	R2		1 3	トロピカルフルーツパーク機能強化事業	後年度	R6	トロピカルフルーツパークの観光誘客を図るため、官民協働による機能強化整備を行う。	供用開始後1年目(令和5年度)の目標を以下のとおりとする。 年間利用客数49,474人	-	-

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
10宮古島市	R2		11 2	幼保連携型認定こども園整備事業	後年度	R6	働く保護者等の育児負担の軽減を図るため、伊良部地区に公立幼保連携型認定こども園を整備する。	負担が軽減されたか(80%以上)を含め、利用児童の保護者等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	－	－
10宮古島市	R4		3 ③	観光循環バス自走化実証実験	後年度	R6	観光循環バスの将来的な自走化運行の実現へ向けて、採算性のあるルート・ダイヤの検討を行う。	1日あたりの運行バス本数:往復16本/日	1日あたりの運行バス本数:往復30本/日	◎
10宮古島市	R5		17	城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)導入事業	後年度	R6	老朽化した城辺詰所緊急車両(消防ポンプ自動車)を更新することにより、災害発生時における初動体制、防災体制の強化により被害の軽減化を図り、本市全域の均衡ある発展に寄与することで過疎地域における定住促進を図る。	城辺地区の火災に対し、初期消火活動を行う。また、火災が発生しやすい時季には、広報パトロールを行い、地域住民への防災知識の向上を図ると共に、防災訓練を行い、防災体制の向上を図る。	出動12件	◎
10宮古島市	R5		11	持続可能な観光地域づくり推進事業	後年度	R6	宮古島市観光推進協議会による観光マネジメントを行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する	観光客の満足度75%	観光客の満足度71%	○
10宮古島市	R5		12	クルーズ船受入体制強化事業	後年度	R6	クルーズ船観光客の受入体制を強化し観光誘客を図るため、観光案内所の運営、歓送迎セレモニーの開催、情報の発信・収集等を実施する。	クルーズ船観光客観光消費単価13,400円	クルーズ船観光客消費単価20,440円	◎
10宮古島市	R5		18	宮古島市観光景観形成推進事業	後年度	R6	景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、電線類の地中化を推進する。	近隣観光施設利用者を対象として、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	－	－
10宮古島市	R5		11	持続可能な観光地域づくり推進事業	未検証	R6	宮古島市観光推進協議会による観光マネジメントを行い、官民連携して地域住民・環境に配慮した持続可能な観光地域づくりを推進する	・観光客の満足度75%	観光客の満足度71%	○
11南城市	R3		3 ①	低炭素なまちづくり推進事業	後年度	R6	公共施設の照明機器や空調機器を省エネ機器に改修し、温室効果ガスの排出削減を図る。	(南城市文化センター)照明設備LED化によるCO2削減量 49.7t/年 削減(R6成果目標)	・49.7t	◎
11南城市	R5		4 ②	南城市エコリサイクル推進事業	後年度	R6	刈草や伐採樹木等の資源化(チップ化)に係る資機材を整備し、ゴミ減量化、3R推進に繋げ、自然環境の保全を図る。	【R6成果目標】 ・草木の処分量 2,990t以上/年 ・堆肥生産量 10,152袋/年	・2,159t ・9,787袋	○
11南城市	R4	繰	4 ①	デジタルのまちづくり推進事業	後年度	R6	デジタル技術を活用した観光、公共交通、産業、教育などさまざまな分野間の目指す方向性や施策を整理したデジタル田園都市構想を策定し、本市のデジタル化のまちづくりを推進することで市民の利便性の向上、観光客誘客に繋げる。	【R6成果目標】 デジタル田園都市構想(仮称)に記載した事業の実施:1事業	・2事業	◎
11南城市	R5		4 ②	南城市エコリサイクル推進事業	後年度	R6	刈草や伐採樹木等の資源化(チップ化)に係る資機材を整備し、ゴミ減量化、3R推進に繋げ、自然環境の保全を図る。	【R6成果目標】 ・草木の処分量 2,990t以上/年 ・堆肥生産量 10,152袋/年	・2,159t ・9,787袋	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
12国頭村	H24		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	H25		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	H26		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	H27		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	H28		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	H29		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	H30		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	R1		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	R2		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	R3		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	R4		3	① 多自然川づくり事業	後年度	R6	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。	整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人 整備した河川での環境学習参加者数20人	・0人 ・0人	未
12国頭村	R5		6	① 国頭村交通不便地域における2次交通実証事業	後年度	R6	本村を訪れる観光客の二次交通に係る課題解決及び利便性の向上を図るため、持続可能で安定した二次交通の導入に向けたコミュニティバスを運行し実証実験を行った。	R6年度 ・乗客を対象としたアンケートの実施 ・運行路線の検討 ・実証実験(通年)の実施・効果検証 ・実証実験から自走化へ計画 ・地域交通会議の開催	・全て実施	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
12国頭村	R5		1	① スポーツコンベンション観光振興事業	後年度	R6	スポーツ合宿の実施増加を図るため、陸上競技大会実施対応備品と合宿及び備品運搬用車両(2tトラック)、ラグビー用Hゴールを整備した。	合宿誘致件数 50件以上 (うち、ラグビー合宿誘致件数 2件)	・48件 ・3件	○
12国頭村	R5		3	① 観光施設機能強化事業	後年度	R6	森林ナイトツアーや星空観望会等の夜にしか体験できないコンテンツを提供することで通過型観光から滞在型観光への転換を図っていくため、やんばる学びの森遊歩道整備の他、役場管理の宿泊施設(やんばる学びの森、奥ヤンバルの里、国頭村森林公園)の屋外灯の改修を行う。	・やんばる学びの森遊歩道年間利用者数: 1,800人以上 ・やんばる学びの森宿泊者数: 20,000人以上 ・奥ヤンバルの里年間利用者数: 4,600人以上 ・国頭村森林公園年間利用者数: 13,300人以上 ・安田くいなふれあい公園年間利用者数: 4,700人以上	・4,188人 ・8,262人 ・5,047人 ・16,879人 ・45,613人	○
12国頭村	R5		7	① 星空観光推進事業	後年度	R6	国頭村の星空を効果的に周知するためのコンテンツ制作、人材育成による受入態勢強化を図り、星空観光推進による観光振興を目的とする。	・やんばる学びの森宿泊者数: 20,400人以上 ・奥ヤンバルの里年間利用者数: 4,800人以上 ・国頭村森林公園年間利用者数: 13,600人以上 ・安田くいなふれあい公園年間利用者数: 4,800人以上	－	－
14東村	R5		7	① 東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業	後年度	R6	東村コミュニティバスの利便性向上を図り、移動しやすい街づくりを推進するため、デマンド化実証実験を行う。	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合を70%以上とする。	東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合: 71%	◎
15今帰仁村	H28～R1		3	⑦ 幼保連携一体化施設整備	中期的	R6	就学前の子どもを持つ家庭の育児支援や連続性のある幼児教育、保育環境を創出し、保育サービスの拡充と地域の子育てニーズや新制度に対応したバランスのとれた総合的な子育て支援を行うため、就学前の幼児教育・保育を一体的に担う「幼保連携一体化施設」の整備を行う。	・年間利用者数: 172人 ・待機児童数: 0人	・年間利用者数: 145人 ・待機児童数: 0人	○
16本部町	R4		2	1 もとぶブランド牛改良促進事業	後年度	R6	町内の肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良促進を目的に、採用用優良雌牛の導入と導入牛を活用した人工授精等の採卵に係る支援を行う。	本事業で生産された子牛のセリ平均価格: その他の子牛のセリ平均価格以上	本事業で生産された子牛のセリ平均価格がその他の子牛のセリ平均価格を上回ること: ー	未
17恩納村	R4		3	① 恩納村景観むらづくり計画改定事業	後年度	R6	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るため、恩納村景観むらづくり計画の検討及び策定を行う。	景観区域内行為届出書の無届件数: 0件	景観区域内行為届出書の無届件数: 0件	◎
17恩納村	R5		3	① 恩納村景観むらづくり計画改定事業	後年度	R6	豊かな自然景観や歴史文化景観を保全し、良好な眺望景観の確保・創出を図るため、恩納村景観むらづくり計画の検討及び策定を行う。	策定する景観計画において、景観保全に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした施策を実施する。	重点地区の設定(1地区)	◎
20伊江村	R2		9	1 伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業	後年度	R6	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生きた教材として平和学習に活用する。	施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	－	－

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
20伊江村	R3		6 ①	伊江村戦跡及び戦争記念碑等 環境整備事業	後年度	R6	村内の戦跡保存及び周辺整備・安全柵・案内板・説明版を設置し、歴史の生 きた教材として平和学習に活用する。	・施設利用者に対してアンケート調査を実施 し、効果的な平和学習による施設利用が可 能となったか(80%以上)を含め、当該事業 のあり方を検証する。	－	－
20伊江村	R3		9 ①	伊江村墓地団地造成事業	後年度	R6	沖縄独自の個人墓地の散在化、土地利用等への支障、景観の悪化を防止す るため、伊江村墓地団地造成実施設計を行う。	・個人墓から村営墓地団地への契約件数:5 件	個人墓から村営墓地団地への契約件数:3件	△
20伊江村	R4		7 ①	伊江村循環型農業促進事業	後年度	R6	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行う事で循環型農業の促 進を図る。	堆肥製造量 R6:3,000t	堆肥製造量 R6年 2,600t	○
20伊江村	R5		10 ②	ET受精卵造成機器購入事業	後年度	R6	従来より性能が向上した新たな凍結機を購入し、凍結受精卵の受胎率向上 及び受精卵移植事業の普及促進を図る。	令和5年度:400個(30%増)	令和6年度:249個	△
20伊江村	H30		5 3	伊江村観光危機管理計画策定 事業	後年度	R6	本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定 し、観光客の受入体制の強化に努める。	【R2成果目標】 策定した観光危機管理計画を策定した避難 訓練(1回以上/年)を実施することにより、当 該計画について検証する。	避難訓練実施1回	◎
21読谷村	H29			ユンタンザミュージアム建設事 業	後年度	R6	観光振興・地域振興を図るため、世界遺産座喜味城跡と連携した魅力ある博 物館を建設し、世界遺産ガイドスとして博物館機能の強化拡充を図る。	観光客の年間入場者数:38,500人	観光客の年間入場者数:28,477人	○
21読谷村	R3		3 ②	ユンタンザミュージアム南側駐 車場整備事業	後年度	R6	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整 備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜 味城跡来訪者の利便性が確保されたか (80%以上)を含め、当該駐車場のあり方を アンケートにより検証する。	－	－
21読谷村	R4		3 ②	ユンタンザミュージアム南側駐 車場整備事業	後年度	R6	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整 備するため、整備工事を行う。	【R6成果目標】 来訪者及び来館者数 座喜味城跡:205,500人 ユンタンザミュージアム:40,500人	－	－
21読谷村	R4		3 ③	歴史資料の整理活用事業	後年度	R6	沖縄戦を境として、米軍統治を経た沖縄戦後史の実相を理解することが できる歴史資料が本村には多く存在する。また本村は、これまで地域史 の継承を意図し、多岐にわたる資料を収集、蓄積してきた。沖縄や本村 に特徴的な歴史を後世に継承していくため、これら種々の歴史資料や歴 史公文書等を順次調査し、整理・保存・公開・普及啓発を行う。	【R6成果目標】 読谷村の歴史、文化への理解が深まったと する回答割合 80%以上	読谷村の歴史、文化への理解が深まったとする 回答割合 85%	◎
21読谷村	R5		2 ③	ICT機能強化事業(小学校デジ タル教科書)	後年度	R6	ICT機器活用により学校教育の質の確保を図るため、小学校にデジタル教科 書を整備する。	デジタル教科書を活用した授業がわかりや すかったかの割合80%以上	デジタル教科書を活用した授業がわかりやす かったかの割合94.4%	◎
21読谷村	R5		3 ②	ユンタンザミュージアム南側駐 車場整備事業	後年度	R6	ユンタンザミュージアム及び世界遺産座喜味城跡来訪者のための駐車場を整 備することにより、来訪者の利便性の確保を図る。	来訪者及び来館者数 座喜味城跡:205,500人 ユンタンザミュージアム:40,500人	来訪者及び来館者数 座喜味城跡:225,000人 ユンタンザミュージアム:28,477人	○

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
21読谷村	R5		5 ②	第3次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定事業	後年度	R6	「第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画」を踏まえ、改めて整備施設の規模・配置を明らかにし、村民センター地区全体の土地利用を確定するための基本計画を策定する。	策定する計画の中で、主要施設の入込客数等返還軍用跡地活用に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした跡地利用促進施策を実施する。	－	－
23北谷町	R3		3 ①	跡地利用推進事業	後年度	R6	今後返還が予定される駐留軍用地の有効かつ適切な跡地利用計画策定に向けた跡地利用推進調査及び地権者に対する説明会等を実施する。	【R8成果目標(R11成果目標)】 (キャンプ桑江南側) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R6成果目標(R11成果目標)】 (桑江第一タンクファーム) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上 【R6成果目標(R10成果目標)】 (インダストリアル・コリドー) 跡地利用基本計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する町民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	－	－
23北谷町	R4	繰	6 ①	北谷町文化発信拠点整備事業	後年度	R6	北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 博物館においては日本固有の縄文文化と沖縄特有の文化を体験できるサービスを町民や沖縄県民へ提供する。また、国内外から訪れる観光客にも同サービスを提供することにより、沖縄観光の新たなコンテンツ作りを目指す。	【R6成果目標】 年間利用客数25,000人	年間利用客数: 17,674人	○
23北谷町	R5		5 ①	北谷町文化発信拠点整備事業	後年度	R6	北谷町の歴史、文化、自然の継承及び発信を行う事を目的に、文化発信拠点となる町立博物館整備を推進する。 博物館においては日本固有の縄文文化と沖縄特有の文化を体験できるサービスを町民や沖縄県民へ提供する。また、国内外から訪れる観光客にも同サービスを提供することにより、沖縄観光の新たなコンテンツ作りを目指す。	【R6成果目標】 年間利用客数25,000人	年間利用客数: 17,674人	○
24北中城村	R3		2 ③	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業	後年度	R6	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地に発生する空地部分の有効活用策の検討及び地権者意向調査を実施する。	【R4年度未検証】 跡地利用検討に対する地権者や村民等へのアンケート調査の実施により本事業の在り方を検証する。 : 肯定的な評価80%以上	－	－
24北中城村	R5		2 ③	喜舎場住宅地区跡地利用推進事業	後年度	R6	キャンプ瑞慶覧喜舎場住宅地区整備計画案をもとに、返還予定区域の有効かつ適切な跡地利用の検討を行う。	【R6度成果目標】 本地区における跡地利用の検討に対する地権者や村民等の「肯定的な評価」80%以上	－	－
25中城村	H29		5 5	中城村地域多世代交流活性化事業	後年度	R6	組踊等の文化活動・継承等の場として活用されている施設の環境改善を図るため、空調整備を行う。	文化活動・継承の場としての環境改善が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	－	－

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
25中城村	R5		2 ①	吉の浦公園施設機能強化整備事業	後年度	R6	プロサッカーチーム等の合宿誘致、各種イベントの開催を推進するため、スポーツや文化活動の拠点として活用されている吉の浦公園内の各施設の機能強化を行う。	【R6成果目標】 整備により利用者の利便性が向上したか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について施設利用者のアンケートで検証する。	－	－
25中城村	R5		4 ⑤	保育施設機能強化整備事業	後年度	R6	園児に向けた遊びの場を提供している村内保育施設を安全に利用できるよう機能強化整備を実施し、健全に成長できる環境を整える。	【R6成果目標】 安全に子供が遊べるようになったかを検証する。 遊具に関連する事故及び怪我件数0件	－	－
25中城村	R5		6 ②	水産物安定出荷事業	後年度	R6	水産物の安定的な出荷を図るために冷凍庫の整備を行う。	【R6成果目標】 水産物出荷量の増加前年比10%増	－	－
27与那原町	R1		11 1	運玉森「平和学習広場」整備事業	後年度	R6	運玉森での平和学習の機会を増やすため、山頂付近での歴史資料や地図等の案内板の整備を行うとともに、登山者の安全を確保する。	平和学習参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業の在り方について検証する。	－	－
27与那原町	R4		7	与那原町伝統文化発信事業	後年度	R6	与那原町の伝統文化の魅力を町民向けに発信することにより、その継承発展につなげ後継者の育成を図る。また合わせて県内外へ発信することにより、観光客の誘致につなげる。	【R6成果目標】 ・来館者数3000人	来館者数: 4,110人	◎
27与那原町	R4		9	新しいまちづくりに向けた公有地活用事業	後年度	R6	沖縄県の均衡ある発展に向けた東海岸地域の活性化のため、本町への新たな経済効果(産業、雇用、税収等)を生み出すため、東浜地区に存する3つの公有地への企業誘致の準備を行う。	【R6成果目標】 ・公募の実施、事業者の決定・契約	公募実施、事業者決定及び契約	◎
27与那原町	R4		9	新しいまちづくりに向けた公有地活用事業	後年度	R6	沖縄県の均衡ある発展に向けた東海岸地域の活性化のため、本町への新たな経済効果(産業、雇用、税収等)を生み出すため、東浜地区に存する3つの公有地への企業誘致の準備を行う。	【R6成果目標】 ・事業開始	事業開始	◎
27与那原町	R5		13	与那原町青少年人材育成交流事業	後年度	R6	町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることを目的とする。県外へ派遣し現地にて交流事業等を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育む。	派遣を行った児童生徒が今後リーダーとして参画する町の行事・イベントの回数 3回程度(町民平和の日、平和企画展、各種社会教育事業)	派遣を行った児童生徒が今後リーダーとして参画した町の行事・イベントの回数: 5回	◎
27与那原町	R5		10	運玉森「平和学習広場」整備工事	後年度	R6	運玉森山頂の斜面对策工事及び散策路、広場の整備を行う。	【R6成果目標】 平和学習参加者の沖縄戦への歴史に関する理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方について検証する。	－	－
28南風原町	R5		2 ⑦	南風原町商品展開力強化支援事業	後年度	R6	本町の中小・小規模事業者が地域資源を活用して製造及び販売する商品を消費者ニーズにあった魅力ある商品へブラッシュアップするための支援を行う。また、商品の製造ラインや販売方法の課題を専門家のアドバイス等により解決を図るとともに、ブランド認証及びプロモーションにより県内外の消費者へ周知し、地域製品の売上の拡大を図る。	改良商品の販売向上率(個数): 前年度比4%以上UP 改良商品の販売向上率(個数): 前年度比4%以上UP	改良商品の販売向上率(個数): 前年度比4%以上UP: 令和5年度に改良を行った5商品のうち、リニューアル中のモリノガ茶を除き全て販売個数が増加し、合計販売個数を比較した販売向上率(前年度比)は、28.5%増であった。	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
28南風原町	R5		2	⑥ 南風原北インターチェンジ周辺企業集積推進事業	後年度	R6	企業誘致等による産業振興の発展を図るため、南風原南インターチェンジ周辺津嘉山地区について地区計画を策定し、具体的に計画を実現することで産業振興の発展に寄与する。	企業誘致2社以上	－	－
28南風原町	R5		7	② 防災体制強化事業	後年度	R6	地震や大雨などの自然災害に対する避難施設の体制強化や自主防災体制を強化するため、避難所や一時避難所等の充実や災害対応の強化を図る。南風原町地域防災計画に基づき避難所における災害対応についての事前措置推進策を講じ、住民や観光客等の安全を確保する。	整備を行った資機材を活用し、防災訓練を実施する。1回以上	整備した避難所用テント等を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施する。:1回	◎
28南風原町	R5		1	12 南風原町学校プール日よけ設置事業	後年度	R6	プール授業において児童生徒が安全に授業を行うことができるよう、熱中症対策のために日よけ設備の設置を行う。	【R6成果目標】 事業完了後の令和5年度に設置済、令和6年度に供用開始の学校プールにおける日よけ設備の設置により、整備箇所において熱中症者0人。	－	－
29渡嘉敷村	R4		1	⑤ 安心安全な村づくり推進事業	未実施	R6	持続可能な観光地の形成に向けて、村内の防犯灯が無いくらい道にLED防犯灯を設置する。	観光客を対象としたアンケートを実施し、集落内(夜間)の安心さ・安全性に関する設問に満足、やや満足と回答した割合が80%以上。	観光客を対象としたアンケートを実施し、集落内(夜間)に安心さや安全性に関する設問に満足、やや満足と回答した割合が80%以上。:75.3%	○
29渡嘉敷村	R5		5	① 渡嘉敷村防災体制強化事業	後年度	R6	安心安全に暮らせ、災害にも強い観光地であるために、災害情報や避難情報等を取りこぼす事無く伝達できるよう無線放送と災害監視カメラの機能強化を行う	【R6成果目標】 ・避難訓練時に利便性が向上したかのアンケート調査を行い、向上したの回答80%以上	－	－
30座間味村	R4	繰	1	⑤ 座間味港緑地公園照明設備更新事業	後年度	R6	村内のイベントでの活用や建庫外のスポーツ団体の利用、合宿誘致を推進し、観光とは違う形での誘客を図ることを目的とし、本村の持続的発展、地域活性化に向けて、座間味港緑地公園グラウンドの照明設備の設置工事を行う。現在、緑地公園グラウンドに設置されている照明設備については、台風による被害や老朽化により、使用ができない状況にあることから、撤去する。	利用団体数 5団体以上、 イベント数 3回以上	利用団体数5団体以上、イベント数3回以上:利用団体6団体、イベント数1回	△
30座間味村	R3	繰	1	⑦ 阿嘉地区観光道路整備事業	未検証	R6	観光客の国際化や多様なニーズに対応する為、国指定天然記念物ケラマジカが生息している地域特性を活用した魅力ある癒しの観光メニュー開発を目的とした山林観光道路を整備する。	阿嘉島観光客の10%以上が本道路を利用することを目標とし、アンケートにより把握する。	阿嘉島観光客の10%以上が本道路を利用することを目標とし、アンケートにより把握する。未実施	未
31粟国村	R4		4	① 和牛改良支援事業	後年度	R6	本村畜産産業支援のため、付加価値の高い子牛の生産ができるよう県内外から母牛となる素牛としての優良雌子牛の導入を支援して畜産業の振興を図る。	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合104.4%	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合67%	未
33南大東村	R3	繰	6	1 大池周辺自然観察施設整備事業	後年度	R6	天然記念物である「大池のオヒルギ群落」等の野生動植物が生息する大池周辺の自然環境を活用するため、自然観察施設を整備する。	島内観光客数3,675人(過去4年平均から5%増)	・14.4%増	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
33南大東村	R3	繰	5	① 循環型農業推進事業	後年度	R6	本村はサトウキビ作農業を主体としているが、畜産農家が少ないなどで、堆肥原料の確保が課題となっていることから、台風等で折損、倒木した防風・防潮林を破碎・チップ化するとともに、村内の自然池で大量繁茂している外来種の水草・泥炭等を除去して、破碎チップと水草等を混合し堆肥化することで、土壤改良による農業生産の向上と、防風・防潮林帯の保全、自然池の環境保全を図る。	サトウキビ生産量 過去10年平均から5%増	・50.6%増	◎
34北大東村	H30		9	1 農業用水路防災・減災事業	後年度	R6	台風等の豪雨による圃場等の洗掘及び干ばつによるさとうきび等への被害を防ぎ、安定した生産を図るため、農業用排水路の整備に向けた概略設計を行う。	・さとうきび生産量 15,734 トン以上	・さとうきび生産量 20,387トン	◎
34北大東村	R3	繰	9	① 北大東村観光基本計画策定事業	後年度	R6	北大東島特有の環境を活かした観光メニューの開発を行うため、観光基本計画の策定を行う。	観光メニューの開発 3件	観光メニューの開発 3件	◎
34北大東村	R3	繰	7	① 土づくり推進事業	後年度	R6	大東島の土壌(大東マージ)は、酸性度が高く肥沃度が低い、作物栽培を行う上で悪条件な土壌であることから、圃場ごとに土壌カルテの作成を行い、圃場ごとに適した土壌作りを促進し、農産物生産量を増加させる。	農産物生産量 26,809t以上	農産物生産量 20,540トン	○
34北大東村	R5		7	① 緊急車両(消防車)導入事業	後年度	R6	災害時の被害抑制など防災体制の強化を図るため、緊急車両(消防車)を導入し、地域住民の安全・安心な環境整備を図る。	【R6成果目標】 ・消防訓練の実施 6回	消防訓練の実施 6回	◎
35伊平屋村	R2		1	6 ボートターミナル機能強化事業	後年度	R6	島の玄関口である前泊港ポートターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観及び施設の利便性向上を図り、施設利用者の満足度を向上させ、さらなる観光客誘致を目指す。	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。	利便性が確保されたかと回答した割合:81.6%	◎
35伊平屋村	R4		3	⑥ 福祉従事者人材育成事業	後年度	R6	村では過去に福祉従事者の為に様々な事業で資格取得に向けて取り組んでおり、有資格者を輩出しているが、受け皿である事業所の施設環境の整備が追いついていない状況である。介護事業所の改革や研修実施、収益改善など効率化構築作業を行い、また、施設管理者向けのマネジメント等、施設改善に繋げ、維持向上を行う。	・福祉人材9名以上	・福祉人材10名	◎
35伊平屋村	R3繰		3	⑥ 学校給食機能強化事業	後年度	R6	既存の施設機能を強化し、徹底した衛生管理を行う事で、安心・安全で安定的な学校給食の提供と、施設従事者の就労環境改善を推進し、もって児童生徒の健やかな発達と教育振興及び自治的行政機能維持、拡充を推進する。	・微生物検査における衛生管理点数 90点以上 ・就労者へのアンケート調査で就労環境が改善されたか(100%)	・微生物検査未実施 ・就労者へのアンケート調査未実施	未
35伊平屋村	R5		3	⑦ 琉球弧に関する広域調査・文化資源創出事業	後年度	R6	琉球弧を対象地域とした調査を実施し、その内容を無償の出版物として刊行すると共に、調査結果等の展示を実施する。また、村内外へ本村の文化の普及啓発を行うことで、未来のSDGs並びに交流事業の活性化、関係人口の増加を狙う。	出版物・展示のアンケート調査により、風土・環境の魅力が伝わったか(70%)、本事業のあり方について検証する。	出版物・展示のアンケート調査により、風土・環境の魅力が伝わったと回答した割合:90%	◎
35伊平屋村	R5		4	④ 公営墓地等整備事業	後年度	R6	個人墓地の散在化を防ぎ、土地の有効利用を促進する。また、墓地所有に係る個人負担を軽減し生涯安心して生活できる環境づくりを行うため公営墓地を整備する。	墓地行政アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	アンケート未実施	未

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
36伊是名村	R5		2	② 定住促進住宅整備事業	後年度	R6	Iターン・Uターンによる移住者の定住促進を図るため。	【R6成果目標】 勢理客地区:3世帯(1号棟、3戸)	勢理客地区:3人(3世帯)入居	◎
37久米島町	R5		4	② 自主防災組織強化推進事業	後年度	R6	消防署から遠隔地に位置する自主防災組織の消防力の向上を図るため、現在設置されている消火栓を活用し消火活動が効率的に実施できる体制を整える。	資器材の操作性及び利便性が向上されたと回答された割合(80%以上)を含め、訓練参加者へのアンケートにより、本事業の在り方について検証する。	資器材の操作性及び利便性が向上されたと回答された割合:91%	◎
38八重瀬町	R5		4	1 農業用機械施設整備事業	後年度	R6	パワーショベルを導入し、町内の作業受託組織へ貸出を行い、当組織が農家からの作業委託を受け深耕(天地返し)作業を行う。同時に、遊休地解消の作業も行うことで、耕作面積を増やし、地域の農業振興に繋げる。	遊休地の解消や植替え期圃場の深耕(天地返し)を行いさとうきび単収増加を図る。	遊休地解消及び植替えの実施	◎
38八重瀬町	R5		6	③ 八重瀬町伝承話資料保存継承事業	後年度	R6	八重瀬町に伝わるしまくとぅばで語られた伝承話の保存、継承を図るため、伝承話資料センターに保管されている本町の伝承話のアナログ音源資料及び文字資料(話者情報等)を調査、収集及び整理し、その整理した資料を基に動画コンテンツの作成、資料館HPへの掲載をし、多くの人がこの資料を活用できるよう図る。	【令和6年度】 伝承話1,000話のデジタル化 整理・収集した目録作成及び著作権関係調査を行う ・HPの利用率10%以上(対R4年度比) 【R7年度】 ・伝承話600話のデジタル化 整理・収集した目録作成及び著作権関係調査を行う	・37%	◎
38八重瀬町	R5		4	① 農業用機械施設整備事業	未検証	R6	パワーショベルを導入し、町内の作業受託組織へ貸出を行い、当組織が農家からの作業委託を受け深耕(天地返し)作業を行う。同時に、遊休地解消の作業も行うことで、耕作面積を増やし、地域の農業振興に繋げる。	遊休地の解消や植替え期圃場の深耕(天地返し)を行いさとうきび単収増加を図る。	遊休地解消及び植替えの実施	◎
39多良間村	R3		1	③ 多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	後年度	R6	一人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する	開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者240名	開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者44名	未
39多良間村	R4		1	② 多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	後年度	R6	一人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する	開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者240名	開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者248名	◎
39多良間村	R5		1	② 多良間村の自然を活用した観光コンテンツ開発事業	後年度	R6	一人当たりの村民所得が県内でも低位にある多良間村において、滞在型観光を推進し、誘客促進及び島内消費額の増加を図るため、地理的特性や地域資源を生かした、体験型観光コンテンツを開発する	【R6成果目標】 観光PR動画作成することにより、観光客の誘致を行う 開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者への黒糖、豆腐作り等体験する200名	観光PR動画作成することにより、観光客の誘致を行う 開発されたコンテンツ(商品)を活用しての観光来島者への黒糖、豆腐作り等体験する362名	△
39多良間村	R5		2	② 地域循環型農業推進事業	後年度	R6	(令和5年度)堆肥製造機械の導入 自走式攪拌機(コンボーター) 堆肥製造機械を導入することにより、生産性の向上と良質な堆肥の提供及び牛の糞尿とさとうきびの枯れ葉を利用し、農地へ還元することによる地力増進と農家の所得向上を目指す。	【R6成果目標】 自走式攪拌機の導入 1台	自走式攪拌機の導入 1台	◎

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
39多良間村	R5		3	⑥ 多良間中学校グラウンド全天候型舗装工事(外周路)	後年度	R6	村民等の交流機会や運動機会の確保を図るため、ジョギングコースとして多良間中学校グラウンドの外周路を改修する。	【R6成果目標】 グラウンドと併用した環境づくりをするために、外周路の整備をし、児童生徒の体育環境の充実と村民の健康増進につなげる。	体育活動や健康増進のための快適な環境づくり	◎
39多良間村	R5		6	① たらびん公園整備工事	後年度	R6	住民の健康維持や、安心して子育てができる環境づくりの促進のため、運動スペース、トイレ、遊具、駐車場を備えた公園を整備する。令和4年度は土地整備やトイレ・駐車場の整備、令和5年度は遊具の設置を行う。	【R6成果目標】 公園の整備により「健康促進や子育て環境の向上」に繋がったと感じる村民の割合：80%以上	－	－
40竹富町	R2	繰	1	5 複合型福祉施設整備事業	後年度	R6	保護者の育児負担軽減、児童の就学前教育機会の確保及び高齢者の健康増進を図るため、保育所、幼稚園及び高齢者の交流施設の各機能を含んだ複合型福祉施設を整備する。	(保育所機能) 本事業について、保護者へアンケートを行い、育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 (幼稚園機能) 本事業について、幼稚園機能利用児の保護者へアンケートを行い、児童の教育機会が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する (高齢者交流機能) 介護認定率20%以下	・アンケートにより、育児負担が軽減されたとの回答:95% ・アンケートにより、放課後等の子供の居場所が確保されたとの回答:93.9% ・高齢者介護認定率:18%	◎
40竹富町	H27～R3		1	5 複合型福祉施設整備事業	中期的	R6	保護者の育児負担軽減、児童の就学前教育機会の確保及び高齢者の健康増進を図るため、保育所、幼稚園及び高齢者の交流施設の各機能を含んだ複合型福祉施設を整備する。	(保育所機能) 本事業について、保護者へアンケートを行い、育児負担が軽減されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。 (幼稚園機能) 本事業について、幼稚園機能利用児の保護者へアンケートを行い、児童の教育機会が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する (高齢者交流機能) 介護認定率20%以下	・アンケートにより、育児負担が軽減されたとの回答:95% ・アンケートにより、放課後等の子供の居場所が確保されたとの回答:93.9% ・高齢者介護認定率:18%	◎
40竹富町	R5		1	⑤ 祖納上村地区観光路整備事業	未検証	R6	西表島祖納地区の通称「上村(ウィムラ)」と呼ばれる一帯の国有地において、地域主導で利活用に向けた土地利用計画を進められている。点在している昔ながらの貴重な史跡や文化財を観光資源として活用するため、歴史・文化・自然をめぐるコースの整備、砲台跡の戦争遺跡としての整備及び平和の夕日公園(仮称)の整備を図る。	散策路整備に関する用地補償総合技術業務の完了	－	－
40竹富町	H29		1	5 干立地区防災機能改善事業	未検証	R6	西表島干立地区の金座山に津波避難施設を整備し、地域住民および滞在者の安全性と利便性を確保する。	整備完了後の目標を以下のとおりとする。 ①整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施することにより、本事業のあり方について検証する。 ②避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか(80%)を含め、本事業のあり方について検証する。	－	－

【後年度・中期目標】沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
「R7年度以降に効果発現する事業」…「－」

市町村名	評価 対象年度	繰 越	事業 番号	事業名	種別	効果発 現年度	事業内容	成果目標(指標)	成果実績(指標)	評価
41与那国町	R1	繰	3	1	与那国町工芸館施設整備事業	後年度	R6	伝統工芸品である「花織り」の情報発信、織物体験、後継者育成等を実施することで産業振興を図る。	施設へ来場することにより、「花織り」の情報発信が図られると考えられるため、来場者数を成果目標に設定する。 供用開始後1年目の目標を以下のとおりとする。 年間利用者数2,800人	－
41与那国町					与那国島古民家活用型定住促進事業	未検証	R6	平成26年度与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画の成果に基づき、モデルとする古民家の解体・移築を通して、新旧を融合させた持続可能な建築技術の継承に取り組むとともに、整備した古民家を活用して定住促進を図る。	【R3成果目標】 島外からの体験型住宅入居人数 2人 ・稼働率(古民家活用型住宅・体験型住宅): 66.6% ・入居者数:2人	○
41与那国町	R5		2	③	官民一体型新産業推進基本計画策定事業	後年度	R6	自立した地域経済の実現に向けた産業振興を効果的、計画的に推進するため、「官民一体型新産業推進基本計画書」を策定し、民間の資金及びノウハウや新しいアイデアを活用した施策展開を民間との協同により取り組む。	R6 導入事業 1件以上 ・R6 導入事業 0件	未
41与那国町	R5		2	④	与那国島地域デジタル推進事業	後年度	R6	本事業は、地域産業(企業)の現状やICT人材のニーズを分析し、課題抽出を行い、ICT導入等の支援のあり方や人材育成の方向性を整理するとともに、他地域の離島辺地における取組事例調査、島外からの人材誘致や企業立地の可能性についても調査・分析し、基本的な方向性(仮説設定)の考察と提示を行うことを目的とする。 ①策定される「地域デジタル推進に向けた調査・分析」資料に沿って、地域企業へのICT導入支援策を着実に実行していく。 ②地域に必要なICT人材ニーズに対する人材育成を実施する。 ③産業振興に資する島外ICT人材の誘致や企業立地にむけて、具体的に取り組むべき政策を進めていく。	①支援推進の完了 ②人材育成の企画実施の完了 ③政策推進の完了	◎